

市民アンケートで寄せられたごみ減量化のアイデア

啓発の強化

- ◎食料品を購入するスーパー等にごみ減量を周知、啓発するポスター等を掲示する。
- ◎食品・製品の包装や梱包資材の減量を行う運動を展開する。
- ◎学校での指導・・子供から保護者へのダメ出し(大人の方がいい加減)
- ◎食品トレー紙パックプラなど分けるだけで随分減量できるので 可燃ゴミに出してあると残念に思います。学生さんのポスターなど 良いかと思います。
- ◎広報を隅々まで読んでいないのでアプリなどの情報は知らなかった。周知の方法など考えてみては。
- ◎ゴミの収集地区別などで、一人当たりのゴミ量を収集日ごとに出してグラフ化して推移を出していく。収集日ごとにゴミの総量、一人当たりの量、さらには地区別で分かれば、意識が高まると思う。家庭ゴミ以外にも職場から出るゴミもあるので難しいが。
- ◎家庭と学校での授業を連携して、ゴミの減量の取り組みをすると、子供達のこれからの未来にも良いと思います。
- ◎大人が変わるきっかけの一つに、子どもや孫からの言葉があると思います。保育園や小学校でゴミ分別講座のようなものをしていただくと市民の意識がより高まるのではないのでしょうか。特に祖父母参観日など一緒に学べるとより効果的な気がします。クイズ形式やゲーム感覚で分別が学べると、家でもやってみよという意識に繋がるとと思います。
- ◎高山市の方でも、もう少しアパートの住人に対して徹底した指導をして欲しいです。
- ◎広報や地方冊子に特設コーナーを作る
 - 1 野菜の切り出しや廃棄する部分などの活用方法等や活用メニュー等を広報や地方雑誌で紹介する
 - 2 再利用できるアイデアを紹介していく
例：スーパーなので野菜など入れるポリ袋は持ち帰ってキリで穴を開ければ水切り袋になる等
- ◎ごみ分別についての詳しいやり方がわかる啓発動画の製作
- ◎ごみ減量や食品ロスをなくすことで地球環境に好影響があることを市としてもっと前広に市民時報などを通じ発信する。
- ◎ごみへの対応が行政の責務ではなく製造者や消費者になることをもっと発信すべきではないか
- ◎年寄りのごみを減らすという概念自体がなく総菜などをたくさん購入するため、プラ容器などが多いです。多分、これからも意識は変わらないと思います。若い世代をターゲットにロハスやエコな生活をアピールしてはいかがでしょうか？また、ごみに焼却にかかる費用を分かりやすく市民に伝えていくことも大事かと思います。(もうやっているかと思いますが継続して実施)

- ◎分別し資源回収することで社会に役立っていることを知らせる。
- ◎ゴミ問題にとどまらず、海洋プラスチックや温暖化の問題など、大きな括りから問題意識を持つよう啓発する。
- ◎子どもからお年寄りまでみんながごみと資源ごみを知ること。子供会や老人会、地域の集いで講習会を行ってみると良い。
- ◎ごみを減らせるような買い方、売り方の工夫、ごみを減らすことによる効果などを周知
- ◎ごみの量がどれだけあるのか直接見せる
- ◎市のHPで減量化への身近な取り組み・アイデアのページを作成し、写真や動画を使って市民へアプローチする。
- ◎家事ヤロウ!!!やくりいむしちゅーのハナタカなどのメディアに出演する。こういうこと
- ◎マイクロプラスチックなどの知見や環境に及ぼす影響など、公演や勉強会を地域で行う
- ◎毎日、年間こんなにゴミ出してます。のような情報を高山市ホームページで掲示するとかどうでしょう。
- ◎学校から、ゴミ集積場へ見学に行く等、子供たちもゴミへの関心が高まるといいと思う。今は、リモートで。せっかくタブレットを導入しているので、そういう社会見学もありかと思えます。
- ◎プラスチックっぽいものが溢れているために、プラごみの仕訳が難しい。もっと誰にでも分かる表示があると良い。
- ◎大人の意識を変えるには時間がかかると思うので、まずは子どもたちにSDGsカードゲームのようなゲームを通してゴミについて考える機会をつくり、そこから地域に広がっていくといいですね

個人の意識向上

- ◎水筒を活用する。
- ◎消耗品を見直す(液体せっけん→固形石鹸、シャンプーやリンス→固形石鹸、台所洗剤→ジュートたわし、洗濯洗剤→マグネシウム、柔軟剤→使用せず)、生ごみは堆肥化。
- ◎買い物はリストを書いて無駄を無くす。くりかえし使用できる蜜蝋ラップを作る。
- ◎食品ロスの取り組みから、食べられるだけ購入する習慣を付ける。特売に惑わされない。防災面から考えてローリングストックを心掛けている。食べる分だけ買い物や料理する(余分は買わない作らない)。
- ◎コンビニなどでは、割りばし・スプーンなどはもらわないようにしている。
- ◎肉や魚をまとめて買ったときは、小分けして冷凍。必要な分だけ解凍で食品ロスなし。分別は子どもや孫の未来のため、と思えば、がんばれる。庭に穴を掘って、野菜くずを埋めては穴を埋めていく。ゴミシールも減らず、ミミズも喜ぶ。
- ◎必要以上に買い物に行かないようにしています。なぜなら、商品には必ず何らかの包装が

してあるからです。必要な分だけ買うことで余分なゴミを出さないようにしています。また、ペットボトル飲料は出来るだけ買わないこと、不要な包装や箸・スプーンは断ることも意識しています。

- ◎野菜など、無駄にすることがないように、干し野菜などにもしている。
- ◎出来合いのお総菜・コンビニ弁当などを購入するとプラスチックごみが大量に出るので、できるだけ自分で調理するように心がけています。
- ◎昔のように量り売りや必要な分だけ購入できるようになれば買う量が減り良いと思う。
- ◎野菜などはこまめに冷蔵庫を見るようにし、腐らせないようにしたり、冷凍保存できるものは使いやすいように小分けにして冷凍保存し、無駄のないように工夫しています。
- ◎買いすぎない事が大事だと思います。
- ◎修理して使う習慣。使えるものを使いきる。ティッシュなども、無駄につかわない。包装も、最小限に。
- ◎野菜は皮も食べる
- ◎個包装の物を買う頻度を減らす
- ◎マイストロー等持参でゴミが出ないようにする
- ◎なるべく1枚の袋に押し込んで、いっぱいにして出すようにしている。
- ◎プラゴミに関しては自宅で圧縮出来れば月に一回で行けるかもしれません。
- ◎ゴミはフワツとした状態で捨てずに、小さめに畳んだり、クシャツと丸めたり、破ったりして捨てる。
- ◎詰め替えタイプを購入する。余分な物を購入しないように1週間分の献立を考え、買い物行く前にメモしてから行く。
- ◎買い物は一週間に一度にして、まとめ買いをし、残り物で色々工夫して料理をし、冷蔵庫がほぼ空になってから、次の買い物に行くようにしています。
- ◎生ゴミ以外のゴミ箱はレジ袋でなく、新聞をセットしています。
野菜くずは動物の餌に、コーヒーのカスは肥料にしています。
- ◎発泡トレイを減らすため、小分けパックではなく大容量のものを買うようにしています。
- ◎テーブルなどの汚れは、使い捨て用品を使わず、台拭きや雑巾などを利用する。
- ◎外出時の水分補給は水筒や空ペットボトルにお茶など入れて使う。
- ◎買い物時に食品を入れるビニール袋を断っています。
- ◎食品トレーをどうにか少なくしたいと考えています。昔ながらの、お店の人と会話ができるような小さなスーパーでの買い物をするように心掛けています。
- ◎食品ロスを出さないように、毎日冷蔵庫のチェックを行い買い物を行う。
- ◎車の中にはいつも買い物袋を入れ、家にも2~3袋の常備を。
- ◎購入する時、本当に必要か家にあるもので事足りるか、一歩立ち止まり考える事。
整理整頓して、家にあるものを、把握しておく。
- ◎お菓子は作れそうな物は子どもと作る！

メニュー考えて買い物いくと無駄な物買わない。金曜日は残った食材で作る！

- ◎食卓のこぼし汚れなどは、ティッシュを使わず、台ふきなどを側においておくこと
- ◎作ったおかずは次の日でも食べきるまで食べます。また違った材料を加えたりしてリニューアルすると新しいメニューになってみんなが食べてくれます。
- ◎毎年、ごみシールとごみカレンダーが届いたら、すぐにカレンダーの可燃ごみの日の右下の辺に3月の最終回収日を①にして逆から数字を書き込んで、回収回数分かるようにしています。そして、シールの枚数と残数を調整しています。
- ◎紙の裏はメモにしています。新聞紙は、油とりに。野菜は出来るだけ使い切る。など。
- ◎食品も購入する時、豆腐など消費期限が長いものを購入してすぐに消費できなくてもいいたまないようにしたり、気をつけている。
- ◎野焼き禁止なので、波トタンの上で草を干し、しっかり乾燥して、袋に入れている。
- ◎収集日までには生ゴミにならないうちに冷凍しておくことで腐敗と臭いを防げます。
- ◎ラップの使用も控えるよう残り物は蓋付き容器に入れ替えています。
- ◎ペットボトルは再利用して、植物の鉢に使ったり、大きなボトルで買って、別容器に移す等、タオル等も再利用して使い切るようにしています
- ◎食べ残しなく綺麗にごはんを食べると、排水口に捨てるゴミが減る。
- ◎どうしてもしょうがないときは細かく切って一旦冷凍、解凍すると水分がやすいのでそこで水きりをしっかりして出すようにしている
- ◎余計な物を買わない。
- ◎コンビニでもらう、おしぼりを乾かして、スナック菓子などの袋についた油をきれいにふき取ってプラごみとして出している。
- ◎アルミ缶は、大野山ゆり園に持っていき、入所者の作業（空き缶つぶし）の工賃になるように搬送している。
- ◎ゴミシール枚数を数えている。
- ◎畑がある人は、野菜などをたい肥として使えるが、そうでない人はなかなか難しいと思うので、どこかたい肥として活用できるように集める場所を作り、利用した分だけ何かのポイントがたまるようにするのも良いと思います。
- ◎総菜等を購入するとごみが増える。煮物や和え物、揚げ物など自宅で調理している。
- ◎食品ロスについては、消費期限に拘り過ぎない、または買い過ぎない、若しくはそれまでに消費する。
- ◎食品ロスを減らすため、残り物を食べ切る（一方、肥満の問題は発生する）。
- ◎食品ロスを無くすため、食べ切れる量だけ調理する。不味いものは作らない。
- ◎「さんあ〜る」が出るまで町内会が配布する毎月ごみ予定日を利用してはいたが、なかなか気付かず出し忘れなどあった。「さんあ〜る」は、定時に目覚まし時計のように、今日のごみお知らせが届きとても助かっています。「さんあ〜る」はインストールすべき便利なツールで、皆さん使うべきだとお勧めします。なかでも 2 週間ごとの資源ごみ回収は特

に便利です。また、分別が分からず困ったら、「分別帳」という種類別分類表があるので、これも使えます。

- ◎食パンの袋に生ゴミ入れるのオススメです。水を切ってから。匂いも割と通さず丈夫。
 - ◎買い物に行く前に、冷蔵庫の中を確認する
 - ◎お腹が空いているときは買い物に行かない
 - ◎流しに設置している生ごみ袋に針等で穴をあけてできる水切りの紹介、野菜の廃棄部分を使った料理レシピなど)
 - ◎着用できなくなった衣類を食器の汚れ取り（洗剤の利用を減らす）や、ぞうきん等に再利用しています。
 - ◎対面販売の所ではトレイでなく袋に入れてもらっている。
 - ◎家では、揚げ物などした場合は、油はこして、何回か使用して、揚げ物鍋に付いた油は古い布で拭いて捨てています。
 - ◎草などは干してからゴミ袋に入れる
 - ◎日用品の置場所は決め、月に1回まとめて購入するようにしている。
- 【プラごみ】100均でなんでも手に入り、100円なら…と何でも買っていたが使い捨てのものが多く、すぐゴミになってしまうため極力買うことをやめた。具体的にはプラ製のカゴや洗濯ばさみなどをステンレス製のものを選ぶようにした。保存容器も瓶製にする。また食品用のラップを、蜜蝋ラップにしようか検討中。ただ近くの店舗に扱いがあるのか分からないため購入に二の足を踏んでしまう。
- 【ウエスを活用】
- 着なくなった衣類や汚れが目立つ布などは小さく切ってウエスにしている。そのまま捨てるよりも活用できるし、ティッシュやキッチンペーパーの消費もおさえられる。
- 【その他】
- 今後は、石鹸やシャンプーを固形のものにしたいと考える。プラ製のボトルや詰め替えのごみなどが気になるため。
- また、野菜などはパック売りよりばら売りのものを、お菓子なども個包装のものより大袋に入っているものを選ぶようにしたい。
- ◎ゴミ箱に入れるゴミ袋を新聞紙で作るようにしたら、臭いもすいっとくれる気がしています。これは皆さんにお勧めしたいです。
 - ◎卵パックとか豆腐のパック、ヨーグルト容器など同じ大きさの場合積み重ねて入れるよう心がけておりますが3年前からシャンプーバーや固形石鹸を使う事で容器をゴミに出す必要がなくなりました。
 - ◎オムツを捨てる際のビニール袋は、空いた野菜やお菓子の袋に入れて捨てている。お尻拭きも不要になった服を切って濡らして赤ちゃんのお尻を拭いています
 - ◎過剰包装を避けるため、肉を購入する際はなるべくスーパーより精肉店を利用している。
 - ◎草や枝は、乾燥させ、容量を減らしてから、ゴミとして出す。

- ◎プラスチック製の保存容器や食器からガラス製に変えるなど、使い捨て製品をなるべく減らすように心がけています。
- ◎洗浄して繰り返し使用できるようなものを意識的に使うようにしている（お弁当のカップ等）。
- ◎商品を購入した時の紙製の箱で、小物入れや仕切りを作って再利用している。
- ◎調理をするときに、ビニール袋の代わりに保存用ジップロックを使い、使用後は何度か洗って再利用するようにしています。

分別の徹底

- ◎スーパーなどの回収場所はスーパーで使えるポイントが付与されることもあり、積極的に利用している。
- ◎資源ゴミの分別の正しい知識をもっと知らせる必要があると思う。配布される冊子「高山市のごみの分け方・出し方」など見ずに、自己流で判断している人が多い。
- ◎子供のプリントは広げて雑誌と一緒にしぼる。あとはプラ、紙ゴミをきちんと分別すればかなり減る。ペットボトル飲料や缶飲料もなるべく買わなければ出す量も減る。
- ◎分別をしっかりする事。

生ごみの減量

- ◎生ゴミは必ず水切りをしてから捨てる。生ゴミを自然乾燥してから出す。
- ◎拠点ごとに生ごみ処理機を設置して生ごみの量を減らす。
- ◎生ゴミは熱で乾燥させ 排水のゴミは天日干しして水気が無くなったら可燃ゴミに出します。
- ◎出きるだけ生ゴミは畑にリサイクル
- ◎生ゴミは自家製土のう袋堆肥で堆肥化しています。
- ◎生ゴミは裏の畑のコンポストにいられています。とった草木は山へすてます。
- ◎生ゴミのみの集積を作り、資源にしていくのはどうでしょうか
- ◎行政として生ゴミの堆肥化を推進することを求めます。高山市は戸建て世帯も多く、畑をする方も多いと思う。機械に頼らない新しい取り組み（虫もわからない、臭いもでない）を推進することでCO2削減にもなる。いまは自作して作れる「キエーロ」と言われるものも紹介されているので啓蒙することも必要。
- ◎あればいいなと思うのが、公共のコンポストです。我が家のように家でなかなか設置できなくても、持って行ければ可燃ゴミとして出される生ゴミが減るのではないかと思います。もしくは、コンポストの講習会があったら参加したいです。

- ◎生ゴミステーションなんかもあったら便利だなあとも思います。
- ◎生ゴミ収集車が必要です。
- ◎各地区ごとに生ゴミを土にする機械を市の負担、もしくは少し集金してもいいので、設置して、生ゴミのみを収集するのはどうでしょうか。
- ◎生ごみは毎日出るため、たい肥化装置に関心があるが置き場所に困る。ゴミステーションなどにバケツなどで持っていけると良い。
- ◎畑等無い家庭もあるので生ゴミ用にコンポストや廃油缶等有れば良いのではないか。
- ◎買い物に行く前に、冷蔵庫の中をチェックする。
- ◎購入して家に帰ったら、直ぐに小分けにして冷凍等する。
- ◎野菜は、ネットで保存方法を検索して実践。
- ◎水切りネットに入れた生ごみを乾かしてから廃棄する。紙製やプラ製容器包装は洗浄が大事だが、汚れが落ちな部分や一部しかついていないのに全部を洗浄する手間を省くため、その部分を切り取り可燃ごみとする
- ◎生ごみ処理機を購入し使用していましたが、地域に堆肥化用の生ごみ回収ボックスが設置された以降は主にそちらを利用しています。地域住民の多くの方が利用しています。
- ◎生ゴミ堆肥化の装置が、どのような仕組みになっているのかわかりませんが、例えばゴミ収集場所などにあり、そこに捨てられると嬉しい。
堆肥が必要な人といない人がいるので、欲しい人が持って行けるとありがたいです。マナーの問題も出てくると思いますが、家庭で堆肥が欲しいこともあるが、装置を買うほどではないし、自宅で置く場所も難しい場合もあるかもしれません。
- ◎野菜は購入後 茹でたり切ったりして冷凍保存する事で、ほとんど古くなって捨てる事がなくなった。
- ◎コンビニのお弁当はできるだけ買わず、手作り弁当にする。

減量化のアイデア等

- ◎リサイクルできる服や日用雑貨を集めたお店や、オークションとかしたらどうですか？
粗大ゴミでまだ使えそうなものは無料回収。
- ◎資源ゴミの収集場所を、可燃ゴミと同じ場所にする。遠いと分別しないから。
- ◎エコバッグのコンテストやごみを減らすアイデアコンテスト等を行う
- ◎水分は必ず水切り??という広告をバンバン出す。捨てかたの良い例を HP など動画でながす。市役所のテレビやヒットネットでもいいと思います
- ◎出来るだけ昔の生活を手本にする。(果物や野菜は包装なし。豆腐はボールに入れる等)
- ◎不用品はジモティで欲しい人にあげる。
- ◎メルカリなどで売却、おさがりにする。
- ◎消滅型生ごみ処理機を取り扱う事業者を市で募集することも効果的ではないでしょうか。

- ◎ゴミの量が多い事に対してのデメリットなどを具体的に案内があり、家族皆、市民一人一人が危機感が持てるような提示がなされれば意識も変わるきっかけになると思います。
- ◎食品トレーはかさばるし、分別の種類も多いので柄のついたものは分別が違うとかあるののでいっそ高山は白色だけに条例で統一してもいいと思う。
- ◎議員・職員が率先して態度を示せば良いのでは。大変さを身をもって知ってから案を出せば良い案が出るのでは
- ◎市の処理・処分経費を発出し市の財政への負荷を示す。市の財源推移を併せて明示し税と生活を見えるようにすることが先ず必要。
- ◎現在の焼却炉の処理能力の増大 200 トンクラスにする方が急がれるのでは。
- ◎ゴミを減らすテクニックが書いてあるチラシ等があるとありがたいです。
- ◎三福寺リサイクルセンターの 1 番ゴミ捨て場（不燃物の埋立地）を一度でもいいから市民の皆様に見て頂きたい。そうすれば、地球を俺たちや痛めとるぞ！という事がもっと切実に理解できるのではないか？（あっ、こりゃゴミを少のうするように気をつけにやいかんぞ！）
- ◎リサイクルセンターの様子、例えば働く従業員さんの労働 適当に分別せずゴミを出すとセンターで又、分別しなくてはいけない！その大変な作業の様子を市民に発信したらどうでしょう。私はその作業を見て各家庭がまあ少し位いいか、と適当に袋に入れてしまうと、働く人々がいかに大変かを見て反省しました。
- ◎循環型社会の推進のために地元の木工製品購入等を後押しすることで、地元で使えるエコポイント（地元通貨・さるぼぼコイン）に還元して、さらに環境に配慮した製品購入に使ってもらうための仕組み作りをすることで、地元製品の地産地消と下支えすることを期待したいです。
- ◎テレビで放送していた自治体の取り組みを取り入れてみたらいいと思います。町の分別ステーションに個別で持参して、10 何種類に分けていました。持参することで自治体の店で使用出来る金券を発行してました。ゴミの廃棄ロスの大切さもよく分かるし、ゴミの量が格段に減少しているとの事です。
- ◎各町内会へ委嘱しているリサイクル推進員を活用できるような仕組みを作る。活発に活動している例を各町内に示して、同じように活動してもらってはどうか。せつかく役を決めても活動していないのなら不必要。別の取り組みに切り替えるべきである。
- ◎ゴミシールに名前の記載をして配布することも一案ではないか。ゴミの減量が目標に達したら元に戻すと表明すればどうか。
- ◎アプリは便利。一般市民に「見える化」するように、現在どれくらいのを燃やしているとか、リアルタイムで計測できるものを、アプリに表示することで意識が高くなるのではと思います。
- ◎間違いやすいポイントや、よくある質問等を、メール配信やアプリによりお知らせしてはどうか？

- ◎目標量があるのであれば、「ごみメタボ脱却！目標体重まであと〇〇kg！市民みんなでダイエット」というような。
- ◎マイバック持参のようにマイお皿やマイタッパーが推奨出来るような取り組みがあればいいなと思いました。（昔の食料品店や魚屋さんのように。）
- ◎売る人も買う人も簡易包装
- ◎雑草や剪定した枝、落ち葉を可燃ごみ袋に何袋も入れているのを見かけるが、可燃ごみにしない方法があるといいなと思います。袋に入れるだけでプラ製品をたくさん使うことになります！生ごみも含めてたい肥化するなどのしくみをつくるのは難しいのかな。
- ◎生ごみ堆肥化装置は、狭いまちなかの住宅でも購入できるものがあるなら、補助を活用し、購入したい。主婦向け SNS やスーパーでアピールしてもらおうと、浸透率が伸びると思う。特に仕事をしている主婦が買い物する時間帯に一瞬でも PR できれば、いいと思う。
- ◎各家庭の不用品を捨てずに、誰かに譲り渡せる仕組み（無償譲渡会のような）ができると良いのでは。
- ◎スーパーなどの協力でごみが出ないレシピの紹介をしてもらおう。
- ◎畑のない家庭は堆肥を作らない。堆肥を作ってゴミステーションに持っていけばポイントがつくなどすればどうかと思います。
- ◎地域に生ごみ集積所を設置し堆肥化することを考えてみてはいかがでしょうか。高齢者は洗い物がおっくうな方や、分別することが苦手な方も多いと思います。
- ◎大垣市が一番進んでいます、他市の段ボール堆肥の状態把握からとりくんでいただければ、うれしいです。電気の処理機が決してベストではないところから始めて下さい。
- ◎笠松町の段ボールコンポストが、低価格で始められると話題です。
- ◎ゴミ焼却の施設見学会などあるといいのでは？
- ◎ワンストップにならないか？TV等は郵便局から国府。ボタン電池、充電電池は家電販売店。パソコンはあっち。などなど これらを1カ所で捨てられればありがたい。
- ◎ゴミ袋を乳白色やわかりづらい色にすれば、スーパー袋等で包まなくても捨てれるのと思います。
- ◎スマホやパソコンを持っていることが当たり前になっている今、各町内の回覧物などを紙ではなく、市役所又は各町協にサーバーを置き、いつでも閲覧できるようにする。当然その投資コストは市役所負担。

減量に対するインセンティブの提案

- ◎無料ごみ処理券を返納した場合、商品券やごみ袋、ポイントなどと交換する。
地域通貨（さるぼぼコインなど）で還元できるといった、地域経済との連動
個人単位で図書券に交換やプレミアム商品券に出来るとよい 携帯アプリのポイントプレゼントとかにすればかなりごみは減ると思います

- ◎年間のゴミの量が減った年は何かしら市民にメリットがあるものを配るとかしたら少し頑張ろうかな?と思えるかもしれない。市内のスーパーで使える商品券がもらえるとか。
- ◎余ったシールの買い上げ
- ◎現在は余ったゴミシールは学校などに寄付するよう呼びかけがされていますが、余ったら換金できるなど、家庭に得になる制度があれば家庭ごみを減らす取組みに少しつながるのではと思います。
- ◎各家庭から出るゴミの量を計量し、家族の人数などにより基準を決め、基準を満たしている市民には、特典を与える（ゴミ減量化に役立つグッズ、何かのポイント、商品券等）。
- ◎ゴミ減量により、ポイント（たい肥装置の割引、環境製品との交換等）が加算される制度
- ◎ゴミの減量に取り組んだら何かポイントがあるとか、目に見える形で楽しく取り組める方法があるといいですね。環境問題に関心がある方は多いと思います。

ごみ処理料金の設定やシール制度の改定等

- ◎分別せず捨てた人に対する罰則を設ける
- ◎まず、ゴミシールの番号で個人が特定されなければ他の人からもらって来て出すから減るわけがない。むしろゴミ袋を指定して高値で売るのが良い。低所得者には、ある程度市に申請して最低限の数量だけ格安で売った方が減ると思う
- ◎ゴミ袋の記名・・ゴミに責任を持ってもらう
- ◎ゴミの有料化が効き目があると思う。まずは、配布シールを減らす。ゴミの量が減ってないから、と、周知する
- ◎シールを減らして足りない人はシールを買えばいい
- ◎無料可燃ゴミシールの配布枚数の削減
- ◎有料シールの価格の大幅値上げ（現在の2倍程度）
- ◎名前付きのシールにする（責任を持ってゴミを出せる）
最低限の基準を超える家庭ゴミも産業廃棄物も廃棄単価をあげる。
その資金で、おもに熱利用されていると聞くりサイクルゴミを本当の意味のリサイクルできる施設や環境造りに投資し、ゴミ資源先進都市を目指す。
- ◎いまだに野焼きをしているのもビックリでした。ゴミシールは買うと高いし、入りきらない物は燃やしている人がいます。
値段は上がってもいいので、シールじゃなくて、市指定のゴミ袋の方がいいと思います。
シールは買える場所がどこか分かっていない人もいるし、ゴミ袋ならみんな分かりやすいんじゃないでしょうか。シールを貼るのも手間ですし。
- ◎100均商品などの使い捨て商品にごみ減量のための市税をかけるのも一案かと思います。
- ◎高山は他の地域と比べてゴミの処理費用が安い、一般家庭の処理費用を請求するべき。
- ◎無料ゴミシール配布を80%程度に減らし、ゴミ処理に費用が掛かることを意識させ減量

化につなげる。

◎従量課金制の導入

◎シールの無料配布を止め、市制定のごみ袋を販売して欲しい（現在の市推奨ゴミ袋より多少値上げしてもいいので）。ゴミ出しの有料化によりゴミ減量化に繋がると思いますし、シールを貼る手間が省ける。

◎燃えるゴミシールの配布枚数の削減及び追加購入料金の値上げ、収集日の削減、ゴミシールの値上げ

◎現状として、無料ゴミシールが十分な枚数、配布されていることから、あえて時間と手間をかけてごみの分別を徹底するよりも、可燃ごみとして廃棄する方が時間的にも経済的にも効率的になっており、ごみの減量化については、市民の理性に訴えるしかない状況である。

行動変化を促すためには、理性に訴えることに加え、減量化による経済的インセンティブを發揮させる必要がある。

- ・無料可燃ゴミシールの配布枚数の削減
- ・有料シールの価格の大幅値上げ（現在の2倍程度）

このことによって、分別の徹底、使い捨て製品の購入抑制、ごみの少ない商品の選択、無料のノベルティ製品などを安易に受け取らないなどの意識改革につなげられないか

◎そもそもゴミシールが無駄

シールの配布量でゴミの量を削減する事には繋がりにくいと思います

ゴミに貼るためのシールは、シールそのものが台紙も合わせ相当量のゴミ

印刷業者には申し訳ないが、印刷して家庭に配布することをやめるべきと考えます

高山市ゴミ指定袋とする事でシールを配布、販売、貼付する無駄をなくすことから始めてほしい

◎有料シールではなく、有料ゴミ袋にすればいい

シールを廃止して、ゴミ袋の値段をあげる。ゴミ袋の種類を、ふやす。

京都市のゴミ袋を、参考に、されては・・・京都市はごみの減量に、成果がでています。

◎ゴミシールを有料にしたら確実に減ると思います。あまり高くなく、1枚10円くらいにしてもそれでもゴミは減っていくと思います。

◎ゴミ減量化ではないのですが、シールについて。

大阪府に親戚があり、その市のシールは高山の1枚分が3つに分かれる様になっています。

1枚使用の時は小さい袋のゴミを。

2枚使用の時はもうチョット大きめの袋のゴミを。

3枚使用の時は45Lのゴミ袋を。

夏は生ゴミの臭いが気になりますが、大きい袋に少しのゴミでは、シールや袋が勿体ないのでたくさん入れようと何日も起きっぱなしになり、不衛生に成りかねません。

小さい袋に小さいシールが貼れば枚数の節約になり頻繁にゴミ出しが出来て良いな、
と思い、記入しました

事業者への提案や意見

- ◎店では簡易包装でお願いしたい。包装紙をリサイクルして作った封筒で郵便を出す時、郵送料を少し割引いてほしい。あるいはポイント制にするとか。食料品は買うとゴミも一緒に買うことになるので、畑で少しでも野菜を作ることも考えて。
- ◎各企業からの廃棄する書類が多いので今後の課題だと思います
- ◎商品が入っている容器のプラスチックが多くて困っているから別に環境に悪くない材質に変えられないものかと思います。
- ◎容器を持って行ってそれに入れてもらえればプラスチックごみは減ると思います。一部企業や都会ではやっているようですが。
- ◎肉はトレーでなく真空パックを希望します。コストが上っても私は買うと思います。
- ◎野菜などは量り売りで買えるところがあるといい。ミニトマトをよく買うけど、容器がかさばってプラごみが増えて困ります。卵も何度も使える容器に必要な分だけ買えるようなところがあったらいいのに。小牧にはありますよ。クレストって言う卵の生産者がやっています。
- ◎過剰包装が多すぎることに対する対策が必要ではないでしょうか？増加しているテイクアウト事業に対する対策も必要でしょう。
- ◎肉や魚などは持ち帰った後にわざわざラップに包んで冷凍するので、ゴミが多く、最初からラップや袋で売って欲しい。
- ◎缶やペットボトルは売る時点で容器の料金を上乗せし、中身を消費後は容器を回収するときにその上乗せした分を消費者に返還する。
- ◎テイクアウトのお店で紙でできた容器を使用してもらったり、容器持参が可能にすれば、市民が自分事として意識できる機会が増えると思います。ただ紙の容器は割高なのでお店側に何か補助があったりするとよいかもしれません。
容器持参が可能な（または容器をお店でキープしてくれる）お店ができたので、そういうお店がこれから増えるといいと思います。（国府地域）
- ◎地元の野菜などの食品で、ビニルラッピングをしなくてよいものであれば、なるべくせずつに販売することもよいのではないかと思います。（大型スーパーでの販売）
- ◎分別を徹底すればごみは資源になると聞いており懸命に取り組んでいるが、油系で汚れた容器などは分別に面倒になることもあるため、製造方法を分別まで考慮したものに変えるなど社会の仕組みとして改良すべき。
- ◎スーパー等の食料品の購入をすると食品の下のシートやスポンジ等が気になる。
- ◎スーパーなど事業所で包装なしの商品はお値打ちに販売する。

- ◎市内のデリカ食品の協力や行動で、専用共通容器を作ってもらい、お客さんにその容器や家庭から持参した容器を使ってもらう。少しでも、プラごみを減らす
- ◎プラごみがとにかく多い（かさばる）。木や紙など天然素材、自然に帰る素材の既製品の普及を望む。
- ◎アイデアとして、スーパー等のお惣菜もパックじゃなくタイミー(透明の袋)に入れて売る、お客さん側がお弁当箱など持参するなど。
- ◎過剰包装が多すぎることにに対する対策が必要ではないでしょうか？増加しているテイクアウト事業に対する対策も必要でしょう。
- ◎都会のスーパーの話で、肉類も小間切れとか体裁を良くしなくても良いものはトレーでは無く、袋で包装されているそうです。過剰な包装 出発点から減らして頂く事で、お店は経費の節約になり、延いてはゴミの減量につながるのでは…
食事するたび、プラゴミが大量に出ます。スーパーマーケットの販売方法、包装の仕方を変えるべき。
- ◎高山市だけじゃなくて、日本全国のお店全般で無駄なパッキングやめたらいいと思う。コロナの影響でそれまで好きな個数が買えたお惣菜（個数や量り売り）がなくなって不便（家族の人数に合わせて買えない！）だし、これでプラゴミやトレイが増えたっていう側面もあるので。みんな除菌に踊らされすぎ。清潔にするのと菌を排除するってやっきになるのはちょっと違うと思う。
『今日はこれだけしかないです』っていう商品やお惣菜の売り方したらいいんじゃないかな…あるのが当たり前になりすぎてからお店側も余分に作って、結局廃棄が増えるっていう。見切り品を見るとせつないのでなるべくそっちを買って廃棄が少なくなるといいかなと思っていて。サービスが過剰かな。
政策であれこれやっても、結局ひとりひとりの心がけもあるんで、そういうお話をこれからの子どもたちにもしていくといいかな。
まず、ゴミが出るものの最初のルートから見直しが必要なんではないでしょうか。
- ◎容器などのリユース出来る商品を多くしてもらったり、企業側にも協力をしてほしい。
- ◎梱包されている事から安心感が得られます。梱包材をより資源化出来る素材への転換も必要では。（特にプラスチック）
- ◎メーカーや、スーパーの売り方の改革が必要と思う。例、量り売りなど。
- ◎昔みたいに酒、醤油、味噌は、量り売り、豆腐は、鍋を持って買いに行く。トレーのパック販売をやめ、古新聞で包む。…そんな時代に戻ったら！
- ◎企業側で、容器を同じ形にする。ガラス製品にするなどの努力があると将来的に良いかも。量り売り（水溶物、固形物ともに）が普及し、トレイやペットボトルが大幅に減少すると良い。そのために市や事業者、市民が何に取り組むべきか考えて実行できると良い。
- ◎生産者や事業者に対して過剰包装を止める取り組みを促すことが重要だと思う。自治体による条例化はできないのだろうか。

- ◎昔のように、マイバッグならぬマイトレイを持参する世の中になり、企業も容器の削減や、土にかえるトレイや包装を選択できるような販売方法にとりくむ。これからの企業価値はトヨタのようにいかに環境問題に取り組んでいるかが重要で消費者も賢く選ぶ必要がある。
- ◎食品店には、お弁当や刺身類等、見栄えを良くする為に、過剰とも思われる成形プラスチックで盛り付けされているが、統一的に何とかならないものか？

その他のご意見

◎ごみに限らず、環境問題に対しては世の中に懐疑論がついて回る。コンビニ弁当などのプラスチック容器を洗って分別するのは、使用する洗剤や水が環境に負荷をかけていて本当はエコではないのだ、プラスチックや紙の再生にはコストがかかるのだ、最近ではマイバックさえも、レジ袋を買ってそれを使い回した方がいいのだ、問題の本質からずれた視線で語られていることを感じる。そういった懐疑論は、コストや面倒くささのような身近な感情に訴えてくるので、タチが悪い。高山市は高山市で、ごみ焼却施設の運用や埋め立て地の逼迫という、高山市の窮状を訴える必要もあるとは思いますが、新ごみ処理場の建設という、このタイミングをうまく利用して、ごみ問題の本質を地道にPRすることが必要なんじゃないかと日々感じています。じゃあ、ごみ問題の本質って何や、って話ですが、個人的には、いちばんは「ごみを減らすこと」だと考えています。プラや紙の分別は、簡単にごみとして燃やしたり埋めたりしてしまうのではなくて、分けることでゴミじゃなくしているんだと思いますが、世間では、分けても結局燃やされているんでしょ、とか、中国に行ってもどうなっているか分かったもんじゃない、とか、やっていることが意味ないんじゃないかと思わせる噂の類のせいで分別しない人も少なからずいると思われる中で、たとえば、プラや紙として収集された後に、具体的にどうやって再生されているのかを追跡して公表（できる範囲で）すべきだと思っています。毎年引き取る業者が変わるのであれば、毎年追跡調査すべきだと思っています。国が公表しているような一般的に使われている資料じゃない方がいいと思うからです。業者に緊張感を持ってもらうことも必要です。仕様に載せるかどうかは考えなくてはならないかも知れませんが、実際はほとんどがサーマルリサイクルだったりするのかもしれませんが、それはそれです。市の罐にほかりこんでいるんじゃなくて、燃料として適正にリサイクルされていることを示すことが大事だと思います。そうなるとう結局は燃やされているのかとを感じる人もいるでしょう。それでもリサイクルは世間一般にイメージされているように繊維や違う形になって生まれ変わるみたいなきれいごとだけじゃないけど、ごみを減らす適正な方法であることを地道にPRする必要があります。レジ袋は何が問題と言ったら、ごみになりやすいと言うこと、ポイ捨てはもってのほか、それが意図しなくても屋外に散らばったときには、どうしても水に流されて海洋ゴミとなり、潮にもまれてマイクロプラスチックとなり、それは生態系

への影響が心配されている。マイクロプラスチックが体内に蓄積された魚を人間が食べたらどんな影響が現れるか分からない。行政として不確かな情報で恐怖をあおることはできませんが、レジ袋の問題は家計に与える影響じゃなくてもっと深刻な問題で、その対策のひとつとして、ごみの原因となりうるレジ袋を減らすことに取り組んでいる、目的はごみを減らすことだということをご丁寧にPRする必要があると思うのです。市民アンケートの結果を見ても、地球環境に対する関心は低いかもしれませんが、SDGsモデル都市となったからには、しっかり本腰を入れて、家庭ではコストをかけることを敬遠されがちな問題に対して、行政としてはしかるべきコストをしっかりとつけて取り組んでいく必要があると考えています。もうやってみえることだったり、論点がずれていることだったりしたかもしれませんが、ご容赦ください。

◎分別を徹底的にやればゴミになるものは本当に少なくなるが面倒くさいが先に来てしまうのも人間だから仕方がない。その方法でしかゴミを出せなくなれば絶対にやると思うし、やらざるを得ない。折角、町内でリサイクル推進委員が頑張っているのに分別にうるさいから資源リサイクルセンターに持って行こうと利用しない。もっと利用すべき。

資源リサイクルセンターの持ち込みは曜日、時間関係ないし多少の分別の悪さも置いてくれば分からないので、しっかり分別や時間を守らなければならないゴミステーションに出すより楽なので遠方でも利用する。ある意味、分別や減量化の妨げになっているのも事実。資源リサイクルセンターを使えば分別、減量化しなくても捨てられるのだから。

もっと、本気で市民にゴミの分別や減量化をすすめたのなら、ある程度強制的にでも押し進めないと大抵の人は楽を選んでしまうし、自分にとってメリットがある方に動くから、分別や減量化はメリットがないと思ってしまった人は気にも留めない。

なので、ある程度強制的ということで、シールの枚数を減量化の名目で減らして、分別した資源物ならシールなしでゴミステーションに出せるから分ける。それもステーションでしか出せなくすればやらざるを得ない。リサイクル推進委員が立たない町内のステーションは、これもまた違反ゴミが多くなるので、シールに市でしか分からない個別番号を付与して違反者は特定できますと謳っておけば尚良し。

また、他の多数の自治体でやっている指定ゴミ袋制で有料購入しないと出せないことになると、もっと効果は上がると思う。

◎まだ使えるのに捨ててしまったり、必要以上に買って無駄になるのが多いような気がします。小学生、中学生の内に、食べ物に対する感謝というのを教育し、一粒のお米や野菜を作る農家のご苦労を知って、食べ残しが無いように子供のうちから教えてあげる必要性を感じます。コンビニやスーパーに食べ物があるのが当たり前ではなく、災害時に物流が止まって品物が無くなるのが、過去にも被災地では多くありました。特に高山は交通網が良いとは言えません。すべてにおいて「もったいない」ということをPRして、地球の

未来を見据えた 4R 運動を推進することがゴミの減量にもつながると思います。
生活習慣として小さい時から学校の授業などに取り入れて、それを繰り返す事が大切だ
と思います。私は婦人会があった頃リサイクルにとっても力を注がれた会長さんが見えて
その年の行事はほぼゴミに関する事、処理場を見学したり話を聞いたり、研修旅行も製紙
会社で新聞のリサイクル現場の見学と、とにかく一貫してました。そのおかげでゴミ減量
が身についた気がします。私はゴミ会長ですと最初に宣言されて活動をされました。
各地域のリサイクル推進員の方々を研修会をするなどして活発に動いてもらうといいの
では??と思います。

- ◎滋賀県はプラも加熱ゴミと一緒に出しているそうです。ダイオキシンの出ない
高炉だそうですが・・・
- ◎子供の教育と理解度の把握を評価していけばいい。子供にとってはテストなんてゲーム
の一環くらいに思わせたらいい。
- ◎生ゴミは、個人で堆肥化するよりも回収拠点を設けて皆で利用することはできないで
しょうか？生産者から消費者への流通だけでなく、消費者から生産者への流通を作るこ
とは、SDGsにも通じるものがあるように思います。これを機に有機野菜の生産者が増え
たら、高山の農産物の付加価値にもなるのではないのでしょうか。私がゴミを減らそう
と思うのは、ゴミを出す手間とゴミを買う無駄な出費を省くメリットを感じるから
です。地球規模でのメリットよりも身近で個人的なメリットが実感できた方が、
やってみようと思う人が増えるのではないのでしょうか。簡単なことではないと思
いますが、今後の取り組みに期待しています！
- ◎可燃ごみの領域が増えるといいなと思います。自治体によっては、プラごみでも燃
焼可能な処理機を持っていると聞いたことがあります。コスト面など難しいとは思
いますが、新しいごみ処理施設ができる際には、ご検討いただけたらと思います。
水切りについては、家庭での意識を上げる必要があるなどは感じます。ただ、忙
しくしている中で水切りに時間を割けない面もあるかなと思います。
- ◎地域清掃などで出た雑草などを可燃ごみとしてだしているケースをよく見かける。
届出をして乾燥させてから燃やす農業従事者はいいが、一般的な市民が環境美化
に伴う雑草の処理は、ハードルが高いと感じている。
- ◎家庭ゴミの減量…。一口に言っても奥深い問題だと思います。
わたし自身は環境問題に関心があり、分別など毎日身近な習慣になっていますが、
家族の中には減量化に対して関心が薄く、意味を理解することもできない人も
います。
そうした中で、1人で家庭ゴミを減らそうとするのは、大変なストレスで体力が
必要となります。
少しでも多くの人が、目標を持って、尚且つ楽しく減量して行けたらいいな
と思います。
上手く分別できたら、このような物に新たに生まれ変わることができてだ
ということが感じられ、体感できると、やる気になるような気がします。

また、祖母は分別しているわたしに「それをやるとお金が稼げるのか？」と問いました。そういった考えの方向けに、何かポイントのような特典があっても良いのかなとも思います。(個人的にはそう言ったことがなくても、やるべきことだと思いますが…)

- ◎プラの回収日を週1回ぐらいに、してもらえば、可燃ゴミは、減ると思われる。
- ◎まず市役所が各部別に分別の違う窓空き封筒を使用している処から全て紙として再生出来るものに改める。更に統一した書式にし部課系の処だけ印刷を換えれば多額の経費削減とリサイクルが可能になると思う。
- ◎高山は山林が多いので、林業を利用した発電を循環型で採用し、会社や学校の誘致、またその余熱でゴミを処理できるような施設を全国に先駆けて作ってはどうかと思います。これだけの山を利用せずにどうするのかと思います。おそらく木の伐採などの林道整備費用が障壁になっていると思いますが、災害時にどうしても陸の孤島になる可能性のある高山にとって、ライフラインの自立は急務です。